

# 徳地森の子くらぶ⑤ ～冬の森を探検しよう～

〈令和2年2月8日（土）～9日（日）〉

## 【目的】

自然体験活動を通して自然に親しむ態度や豊かな情操を育むとともに、集団での宿泊体験を通して自立心や望ましい生活習慣を身に付ける素地を養う。また、本事業を実施し、参加者とその保護者の自然体験についての興味や関心が高まることで、体験活動の普及を推進する。

【参加者】52名（男子22名、女子30名）、法人ボランティア10名

## 【プログラムの内容】

### 1日目

- 11:10 はじまりの会
- 11:30 みんなで仲良くなろう
- 13:30 冬の森探検
- 18:30 キャンドルのつどい
- 20:00 入浴
- 21:00 就寝

### 2日目

- 9:30 焼き芋・ホットドック作り
- 13:30 さよならの会
- 13:45 解散

## 「はじまりの会」「みんなで仲良くなろう」



多くの子供たちは、初めてのキャンプで戸惑いも多く、緊張していた様子であった。みんなで仲良くなる時間では、学生ボランティアも一緒に色々なゲームを行った。子供たちは、徐々に笑顔が出てきた。最後は緊張がほぐれて、楽しい雰囲気となった。

## 「冬の森探検」



冬の森探検では、自然を感じるための「ミッションカード」を持って、班ごとに探検した。梅の花等を触ったり、かいだりして、五感を使って自然を感じる活動となった。コースは、距離が長く、寒かったが、班のメンバーで声を掛け合い、ミッションを全班クリアすることができた。



## 「キャンドルのつどい」



火の神様より、灯された火を見つめ、班ごとに次の学年でチャレンジしたいことを発表し合った。

## 「焼き芋・ホットドック作り」



焼き芋・ホットドック作りでは、班のみんなで協力して活動できた。片付けも積極的に協力して最後までやり遂げることができた。

### 【参加者の声】

「友達がいっぱいできた」「森探検はスリルがあって楽しかった」「冬の花や景色がきれいだった」「みんなと力を合わせることが嬉しかった」などの感想があった。

### 【成果】

焼き芋・ホットドック作りでは、子供たちだけで活動ができるように、職員がデモンストレーションを行った。そのため、イメージがつき、自主的に活動する姿が見られた。

### 【課題】

冬の森探検の際、活動中に体調不良が出た際の対応に時間を要したため、緊急時対応の計画と活動範囲の見直しが必要である。